

研究・調査報告書

報告書番号	担当
234	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳)	
Beyond the binge in 'booze Britain': market-led liminalization and the spectacle of binge drinking. 「booze Britain」にみる市場主導過程と大酒家の惨状	
執筆者	
Hayward K, Hobbs D.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Br J Sociol. 2007 Sep;58(3):437-56.	
キーワード	
アルコール、夜間経済、惨状	
要 旨	
<p>現代の夜間経済 (night-time economy) はイギリスの町の中心部を、悪事が規範を損なうのではなく、交渉秩序 (negotiated order) を不可欠とする大酒社会を確立する空間へと変えてきた。</p> <p>この論文の主題は、現代の大酒を取り巻く状況について広く論証することである。特に、アルコールによる興奮や過剰飲酒を指向する感覚的な変化と、飲酒問題を合理的にコントロールする方法を模索することの関係について論証する。飲酒に関する政府の政策を知らせるのは市場の論理であり、大酒家は夜間経済の関心の中心である。それは、自己満足の形であり、抑圧されたものを具体化する形でもあるのである。</p>	